



Sasayama Elementary School

# 学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成31年 1月 7日発行

平成30年度 第9号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

## 新たな旅立ちに向けて

～守・破・離～

学校長 三瓶 徹

新しい年となりました。「今年は〇〇をがんばろう」と新年への決意をしたことと思います。新年の決意を1年間大切にしていきたいと思います。

さて、江戸中期の茶人である川上不白の言葉だといわれる、「守・破・離（しゅ・は・り）」という言葉があります。川上不白という人は、江戸に千家流の茶を広めた茶人です。茶道の世界ではいろいろな流派があって、それぞれ独特の奥義があるようです。不白は、茶の湯を志す人には身分にかかわりなく誰にでもその奥義を教えた人とも伝えられています。「守・破・離」という言葉は、「茶の道」を究めるための3つの段階を示すものです。

「守」の段階では、先人や師の教えを忠実に守って、基礎・基本をしっかり身につけることです。

次に「破」の段階は、基礎・基本のうえに立って、さまざまなことに挑戦しながら自分なりの実力や個性をつけていく段階です。

最後は「離」の段階です。そこから離れ、自由自在に新しい境地を切り開くという段階です。

その道の達人になるためには、それはそれは厳しい鍛練と修行が必要です。ただがむしゃらに自己流を貫いてもなかなかその道を究めることができません。基礎・基本をしっかり学んだうえに、さまざまなことにチャレンジし、自分なりの創意工夫を凝らしながら自分を高めていこうとする心持が大切です。この「守・破・離」の心は、その後、武道や華道などさまざまな分野で、その道を究めていくうえにきわめて大切なこととして大きな影響を与えています。

いつの時代であっても大切なことは、常に「大きな志」と「夢」をもつことだと思います。人間は、夢や希望があるからこそ、明るくたくましく生きていけるのです。自分の道を切り開いていくためにも、「守・破・離」の心をもって、自由に伸び伸びと、そして、あせらず、あわてず、あきらめず、自分の道を切り開き、自分を磨いてほしいと思います。

昨年は、本校の教育活動にご支援をいただきありがとうございました。今年もさまざまな活動にお力添えをよろしく願います。なお、厳しい寒さゆえ、体調を崩さぬよう、ご家庭でも健康管理をよろしく願います。